

Imaging Team

掲載内容

1) 製品情報

MetaMorph NX Version2.0.735.1 の機能の紹介

当社デモ機材のラインナップ増設の紹介

当社デモ機材の中古品販売に関して

2) Journal の紹介

Application Link 機能を用いた、XY 座標位置の MetaMorph への読み込み用 Journal について

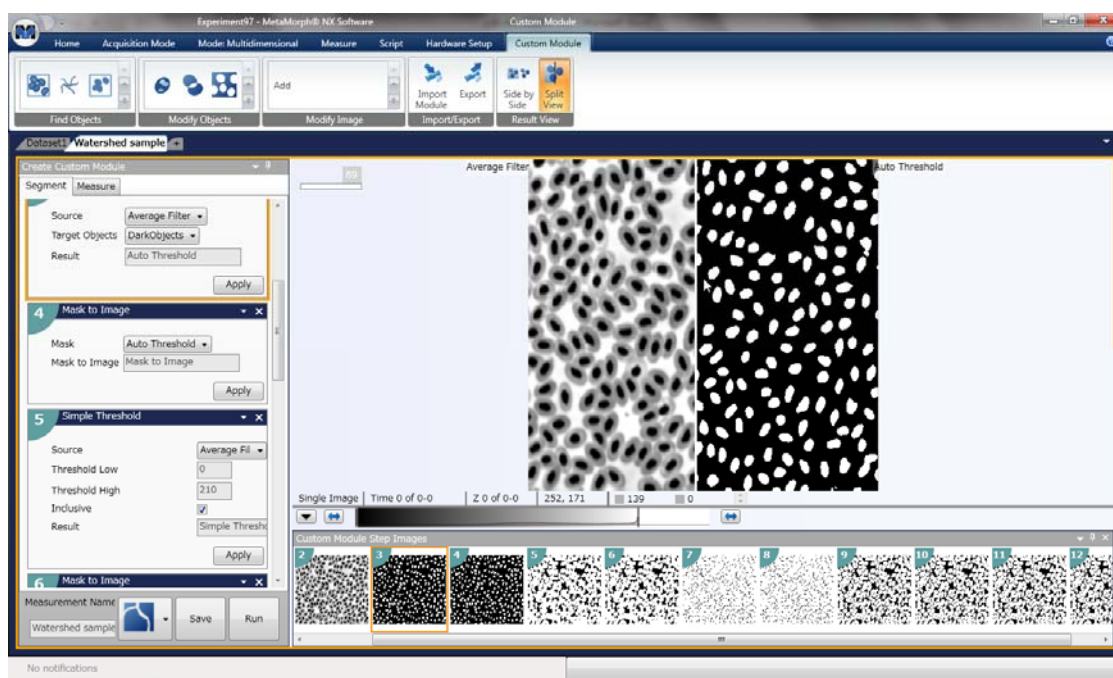
1) 製品情報

MetaMorph NX Version2.0.735.1 の機能紹介

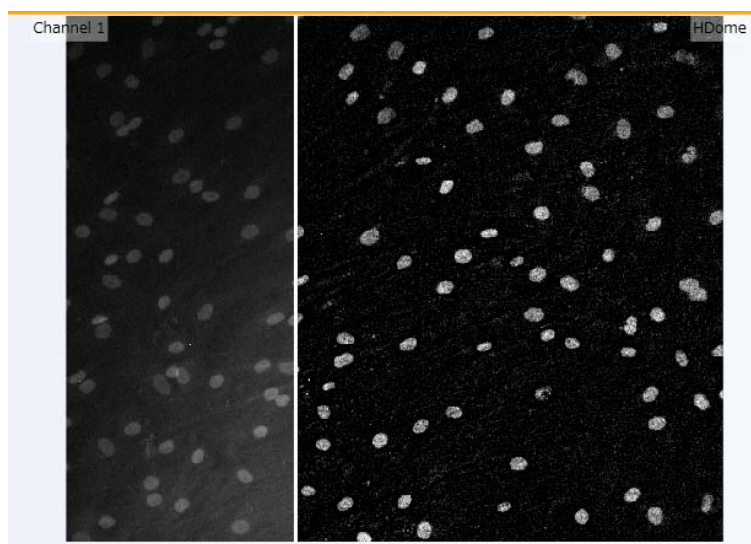
先月セールスノートで紹介した MetaMorph NX の最新バージョンで大幅に機能拡張した Analysis Builder をご紹介します。

ウィンドウ左には、NX で使用可能な解析モジュールがブロック単位で任意に組み合わせることが可能です。

ウィンドウ下には、それぞれの解析過程ごとに更新されるイメージが表示されますので、MetaMorph のマクロ機能 (Journal) と異なり、解析のステップを作成しながら、その都度、各解析途中の様子を確認することが可能です。



各種フィルタは、MetaMorph と異なり、フィルタ処理前 (画像左) と処理後 (画像右) を分割表示可能な「Split View」表示が可能です。



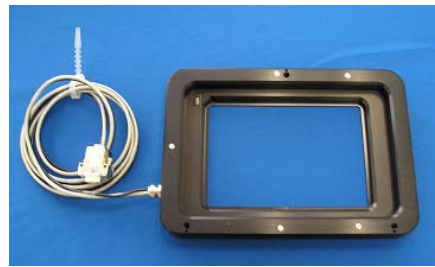
当社デモ機材のラインナップ増設の紹介

従来のラインナップに加え、下記のデモ用ハードウェアの増設を致しました。一部は 3 月末までに入荷予定です。デモ等のお問い合わせは、各営業担当まで御連絡下さい。

倒立型 XY 電動ステージ BioPrecision2 及び 350 μ m 用ステージ Piezo ユニット



96S107-O3-LE2



96A602

倒立型顕微鏡用 XY 電動ステージで、フラットトップタイプで Piezo を直接設置できるタイプです。

移動量は 120 mm x100 mm で高分解能タイプ (50nm) になります。

Piezo は、350 μ m 仕様でホルダの汎用性が高いタイプになります。

XY 電動ステージと Piezo は、MAC6000 コントローラで制御する構成です。

ジョイスティックは XY with Digipot になります。

X-Cite XLED1 LED ライト光源



デモ機材は、385 / 460 / 525nm を搭載し、交換用として、447nm も御用意する予定です。

本体から、顕微鏡アダプタまで 2m のファイバでリモートパットからのマニュアル操作でも大変取扱いは簡単です。

接続は USB で、MetaMorph からの制御も可能です。

OBBC ScopeLite 200J



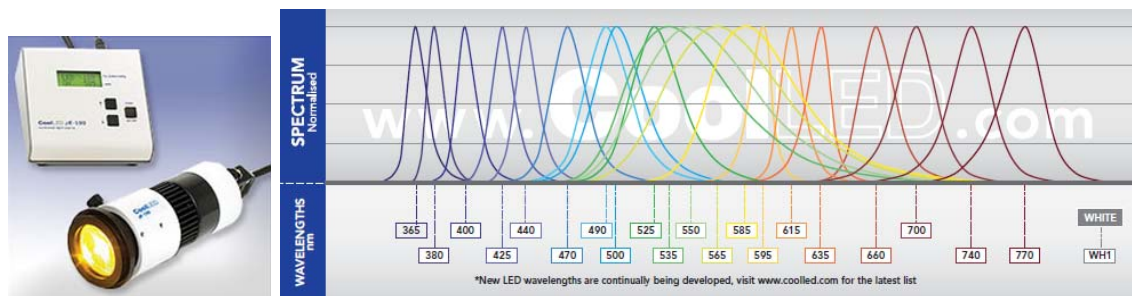
メタハラ光源で、200W仕様です。寿命が2000時間と長く、安定して使用して頂くのに大変便利です。内臓シャッターで、顕微鏡にはアダプタで接続します。従って、シャッター開閉の振動が顕微鏡に影響しない設計になっております。

DeltaRAM 光源専用 USB-DAQ ユニット

DeltaRAM 光源専用、内部を調整している USB-DAQ になります。

通常の USB-DAQ (National Instruments 社製 USB-6501DAQ)) と内部電圧仕様が異なるため、DeltaRAM 光源の場合は専用 USB-DAQ を使用して下さい。(定価 10 万円・税抜)

pE-100 Multi 365nm LED ライト光源



数種類所有しております pE-100 単波長 LED 光源のデモ機材ですが、従来 425nm が最も短い波長でした。今回、365nm を用意致します。

DAPI、Hoechst の観察や、Qdot 用などに使用することが可能です。

当社デモ機材の中古品販売に関して

当社デモ機材(ハードウェア)の中古品販売を行います。

<http://www.nihonmdc.com/pages/UIC/metamorph.html>

こちらの Web ページの「デモ機販売のお知らせ」をクリックして内容を御確認下さい。



| 製品関連 | 情報と資料 | サポート | 会社概要 |

トップ → 製品情報 → 顕微システム → MetaMorph® software



- MetaMorph
- MetaVue
- MetaFluor
- MetaMorphシステム構成例
- MetaMorphオプション
- メールでのお問い合わせ



- ← CCD カメラ
- ← 周辺機器

下記のようなものがございます。

冷却 CCD カメラ、LED 光源ユニット、共焦点ユニット(ヘッド)などです。

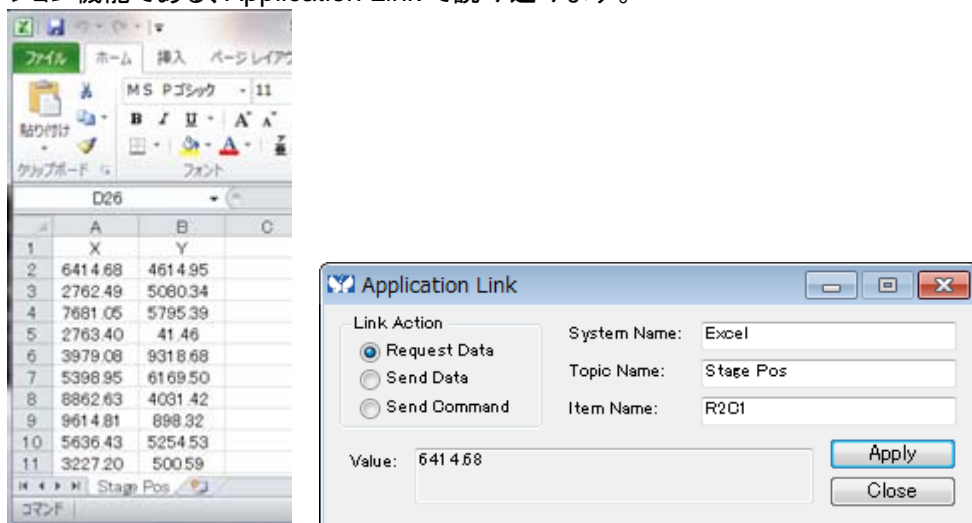
お問い合わせは、各営業担当まで御連絡下さい。

2) Journal の紹介情報

Application Link 機能を用いた XY 座標位置を MetaMorph への読み込みするための Journal についての紹介

ここでは外部システムで取得された XY 座標から、MetaMorph への移行の方法について、Application Link 機能とマクロ (Journal) を使用した例を紹介致します。

下記のように Microsoft Excel に、XY 座標位置情報があるとします。こちらの情報を MetaMorph のオプション機能である、Application Link で読み込みます。



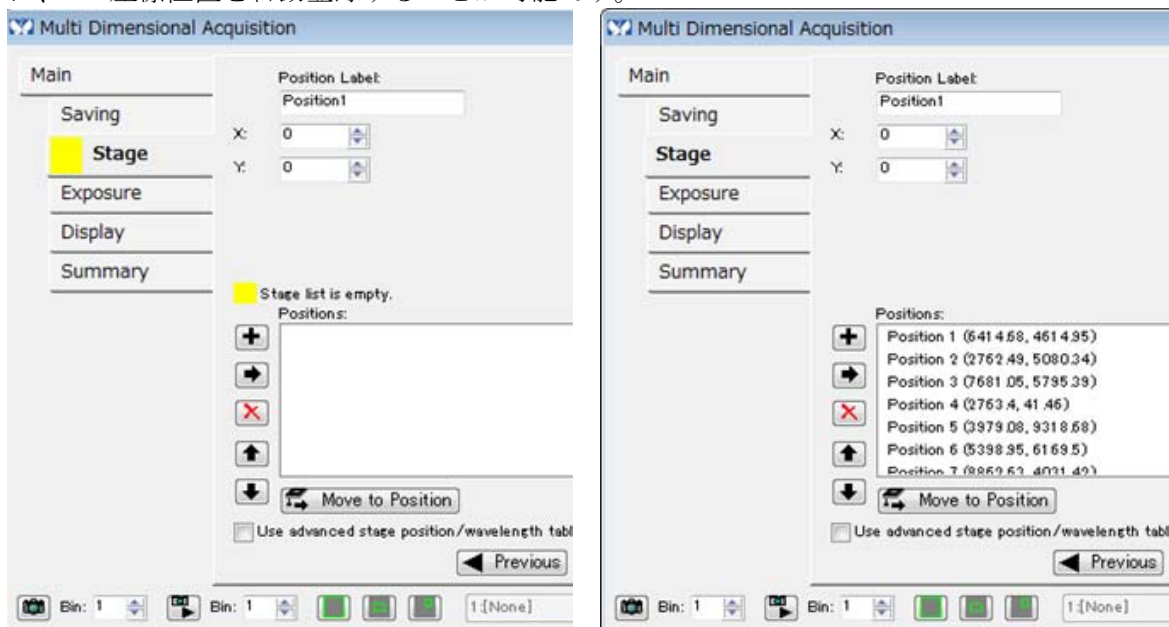
The image shows a Microsoft Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C
1	X	Y	
2	6414.68	4614.95	
3	2762.49	5080.34	
4	7681.05	5795.39	
5	2763.40	41.46	
6	3979.08	9318.68	
7	5398.95	6169.50	
8	8862.63	4031.42	
9	9614.81	898.32	
10	5636.43	5254.53	
11	3227.20	500.59	

Overlaid on the spreadsheet is the 'Application Link' dialog box. It has the following fields and options:

- Link Action: Request Data, Send Data, Send Command
- System Name: Excel
- Topic Name: Stage Pos
- Item Name: R2C1
- Value: 6414.68
- Buttons: Apply, Close

次に、マクロ機能である Journal を使用しますと、左のように何も登録が無い状態から、右のように、XY 座標位置を自動登録することが可能です。



The image shows two screenshots of the 'Multi Dimensional Acquisition' software interface, specifically the 'Stage' tab. The left screenshot shows an empty 'Positions' list with a message 'Stage list is empty.' The right screenshot shows the same interface after data has been imported, with the 'Positions' list populated with seven entries:

- Position 1 (6414.68, 4614.95)
- Position 2 (2762.49, 5080.34)
- Position 3 (7681.05, 5795.39)
- Position 4 (2763.4, 41.46)
- Position 5 (3979.08, 9318.68)
- Position 6 (5398.95, 6169.5)
- Position 7 (8862.63, 4031.42)

これにより、外部のシステムで取得されたデータ位置 (スライドのどの位置) かを MetaMorph で読み込み、その位置での多点タイムラプス観察をされたいような場合に、非常に簡単に行うことが可能です。今回の Journal に関して、MetaMorph Basic ソフトウェアの場合

「#40180 アプリケーションリンクモジュール (DDE) ¥100,000-」 (税抜) が必要です。

以上です。